

17 人間環境大学犯罪心理学科サイバー防犯ボランティア JINSAVA (岡崎市)

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	人間環境大学犯罪心理学科サイバー防犯ボランティア JINSAVA
2 事業名	大学生サイバー防犯ボランティアによる防犯広報啓発活動
3 事業実施結果	<p>【活動①：大学祭での地域警察署とのコラボブース出展】 実施日：2025年10月18日 準備期間：2025年9月3日ー10月17日 場所：人間環境大学3号館332教室 来場者：96名 活動内容：大学祭において、地域警察署と連携したコラボレーションブースを出展した。ブースでは、フィッシング詐欺、ショッピング詐欺、闇バイトなどのサイバー犯罪の危険性や注意点を啓発する動画を作成・上映し、来場者に視聴していただいた。 動画視聴後には、サイバー犯罪に関するクイズに挑戦してもらい、正解・不正解に応じて具体的な被害防止対策のポイントを説明した。あわせて、日常生活におけるサイバー犯罪への注意喚起を行った。 最後に、広報啓発用としてポケットティッシュおよびボールペンを配布した。</p> <p><活動①の様子></p> 

3
事業実施結果

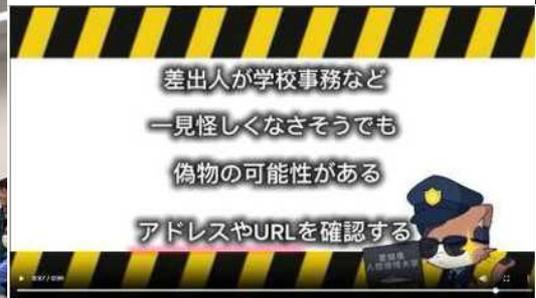
【活動②：令和7年度サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテストへ参加】

実施期間：2025年12月1日～21日

場所：人間環境大学

活動内容：警察庁が主催する「令和7年度サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテスト」に参加した。本コンテストは「サイバー攻撃者にさせないための取組」をテーマとしており、本学ではサイバー犯罪防止を目的とした啓発動画を制作した。完成した動画は、最寄りの都道府県警察へ提出し、現在は選考結果を待っている状況である。

<活動②の様子>



【活動③：市内商業施設イベントでの防犯キャンペーン】

実施日：2025年12月14日

準備期間：2025年12月1日～12月13日

場所：市内商業施設

活動内容：市内商業施設で開催された防犯キャンペーンにおいて、警察ブースの一面を活用し、サイバー犯罪防止に関する啓発活動を実施した。

フィッシング詐欺、ショッピング詐欺、闇バイト等をテーマとした啓発動画を上映し、動画視聴後にはクイズを通じて被害防止のポイントを解説した。

また、災害時に注意すべきサイバー犯罪についても説明を行い、最後に広報啓発用のポケットティッシュおよびボールペンを配布した。

<活動③の様子>



<p>3 事業実施結果</p>	<p>【活動全体での実施結果】</p> <p>本事業では、地域警察署と連携し、大学祭、市内商業施設イベントへの参加、防犯啓発コンテストへの参加という三つの活動を通じて、サイバー犯罪防止に関する広報啓発活動を実施した。</p> <p>大学祭および市内商業施設での啓発活動では、フィッシング詐欺、ショッピング詐欺、闇バイト等をテーマとした啓発動画の上映とクイズ形式の説明を行い、来場者に対して分かりやすい情報提供を行った。また、サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテストへの参加を通じて、被害防止のみならず、加害行為に加担しないための意識啓発を目的とした動画制作に取り組んだ。</p> <p>これらの活動を通じて、地域警察署と大学との連携体制が構築され、今後の継続的な防犯活動につながる基盤を形成することができた。あわせて、幅広い世代に対してサイバー犯罪の危険性や対策について周知を図ることができた。</p>
<p>4 成果と課題及び今後の取り組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>本事業により、大学生や商業施設の来場者など、幅広い世代に対してサイバー犯罪防止に関する啓発活動を実施することができた。動画視聴とクイズを組み合わせた参加型の手法により、来場者がサイバー犯罪を身近な問題として捉え、防犯意識の向上につながったと考えられる。</p> <p>特に、大学祭における啓発活動では、比較的落ち着いた環境の中で動画を視聴してもらうことができ、内容理解を深める機会を提供できた。</p> <p>一方、市内商業施設で実施した防犯キャンペーンでは、年少の子どもを含む家族連れの来場者が多く、想定していた対象層よりも低年齢の参加者が多い状況であった。クイズについては、小学生程度を対象としたものと大人向けのものを準備していたが、未就学児など、さらに幼い子どもへの対応には限界があり、内容や手法の面で十分に対応しきれない場面も見られた。</p> <p>また、屋外イベントという環境の特性上、落ち着いて動画を視聴することが難しい参加者もあり、加えて、動画視聴用のモニター等の機材が小さく、複数人での視聴や遠方からの視認性に課題が残った。これらの点から、実施場所や設備環境に応じた啓発方法や機材準備の必要性が明らかとなった。</p> <p>(2) 今後の取り組み</p> <p>今後は、学生が主体となって実施するボランティア活動の幅を広げるため、サイバー犯罪防止に関する啓発コンテンツの内容をさらに充実させていく。これまで取り組んできたフィッシング詐欺や闇バイトに加え、SNS利用時のトラブル防止や個人情報の適切な管理など、日常生活に密接したテーマについても取り上げることを検討する。</p> <p>また、動画やクイズに加えて、年齢層や実施環境に応じた多様な啓発手法を取り入れることで、学生が企画・運営に関わる機会を増やし、主体的に防犯活動へ参画できる体制づくりを目指す。</p> <p>これらの取り組みを通じて、学生の防犯意識および社会的責任感の向上を図るとともに、地域に根ざした継続的なサイバー犯罪防止活動へと発展させていく。</p>